

「れんけいレポート」

～地域連携室報告～

発行：河内長野市医師会地域連携室

平成29(2017)年6月・第20号

☆河内長野市ブルーカードシステム(休日夜間病状急変時対応システム)が稼働中。かかりつけの患者さんに、「ブルーカード」を発行するには、「登録医」(登録医療機関)の申込みが必要。随時「登録医」の登録申込みを受付中。詳細は、下記地域連携室迄ご連絡を！

☆多職種連携推進のための「河内長野市れんけいエチケット集」を発行中。ご希望の場合は、下記地域連携室迄ご連絡を！なお、医師会ホームページ(地域連携室⇒エチケット集)から、PDF版のダウンロードも可能となっている。

☆地域における“顔の見える”多職種連携の推進を！！

(1)「れんけいカフェ」は、5月24日(水)に第5回を開催。「多職種連携マガジン」の編集会議はじめ、地域における医療介護の諸課題等のフリートキングを実施。今回より「れんけいカフェ」は、河内長野市地域ケア会議の活動を分担すべく、地域における多職種の連携拠点(プラットフォーム)役・協議体役を担うことになり、運営方法等を一部変更。次回は6月28日(水)の予定で、今後は偶数月の第4水曜日の定期開催となる。時間等は次の通り。

○時間：午後1時30分～5時(午後2時から60分位は編集会議等を行い、その他は自由な集いの場)

○場所：河内長野市医師会地域連携室会議室

○参加対象：医師、看護師、ケアマネジャーはじめ医療介護福祉従事者<予約不要・参加自由>

(2)「多職種連携マガジン」(別紙)は、河内長野市地域ケア会議の広報紙として、現在第2号を発行。

☆地域をみるみるコーナー：河内長野市立文化会館「ラプリーホール」～5月17日(水)・第2回
大小ホール、会議室、和室、ギャラリー等がある。講演会、コンサートの開催はじめヨガ、絵画の教室等も行われており、下記河内長野市民大学「くろまる塾」の事務室も設置されている。5月26日(金)には、シンポジウム「楠木正成考 ゆかりの地から見る大楠公・小楠公」が開催された。

◇河内長野市との懇談：5月17日(水)に保健福祉部の担当者と喫緊課題について協議、意見交換。

☆【Pick Up】:

○河内長野市民大学「くろまる塾」：平成23年6月から、「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも・みずから」学ぶための生涯学習の場(コミュニティカレッジ)として開校。河内長野市の市民または在学、在勤する方なら誰でも無料で入学可能(高校生以上)。歴史、文化、健康、福祉等の各種講座が開催中で、随時受講可能。詳細は、<http://www.kiccs.jp/kuromaro/index.html> 迄。

○“終活”：人生の終末期に向けての備えとして、最近、自身の意思表示を書き留めておく重要性が言われている。4月には京都市が「終活」リーフレットや「終末期医療に関する事前指示書」を提示して、話題に。詳細は、<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000217933.html> 迄。

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL:54-1700 FAX:54-1567>

<メールアドレス:chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>